

## はじめに

岐阜県教育委員会の皆様には、日頃から、岐阜県 PTA 連合会の活動及び岐阜県内すべての子どもたちに対し、格別なるご理解、ご指導、ご援助をくださり、誠にありがとうございます。

「すべては子どもたちのために」を念頭に、子どもたちに寄り添いともに歩みながら、皆様と連携し子どもたちの成長を支え続けて参りましたが、コロナ禍を経て、PTA や子どもたちを取り巻く環境は一変しました。

PTA においては、様々な行事が消滅し保護者が学校に足を運ぶ機会が少なくなっただけでなく、負担軽減や効率が最優先されるあまり、本質を見失いその在り方や存在意義が問われる時代に入って参りました。しかし、我々は社会教育団体として保護者や教職員の方々に様々な学びや経験の機会を届けるとともに、一人一人の保護者の思いや意思をくみ取り、皆様とともに子どもたちの教育環境を整えていくことを大義として今後も存続しなくてはなりません。

今回の要望は、岐阜県内各地区から保護者の声を直接集約し、岐阜県 PTA 連合会として、これからの教育現場に必要な整備や変化を求めるものであります。

次代を担う子どもたちに、よりよい環境を整え、健全で健やかな成長を願う思いは、全ての大人たちの強い願いだと信じています。

学習指導要領の改訂をはじめ、タブレット導入による ICT 教育や生成 AI の導入など、対応すべき事柄があまりにも多く日々困惑されながら子どもたちのためにご尽力いただいていることに深く感謝し、引き続き PTA 活動をご支援いただくとともに、今回の要望を同志からの思いとしてお汲み取りくださいますようお願い申し上げます。

### 要 望 内 容

- 1 地域活動・PTA活動の充実について
- 2 児童生徒の健全育成・安全安心について
- 3 教職員の人材確保と予算増について
- 4 教職員の定数増、加配等について
- 5 指導力の向上について
- 6 特別支援教育の充実について
- 7 部活動地域移行について
- 8 喫緊の課題について

# 令和6年度 岐阜県教育委員会への要望書

岐阜県PTA連合会

## 1 地域活動・PTA活動の充実

### ・地域とともにある学校づくりの強化

子どもたちを育てるために、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動などの地域社会教育の推進に関わる支援と、そのための担当課の連携を要望します。

特に地域と学校との関わりが大切だという点から各市町村にコーディネーターのような担当者を確保し、学校支援に地域学校協働活動推進員等育成研修を受講されたような幅広い人選を心掛けることを要望します。

### ・県教委に対して、毎年の要望書に基づく進捗状況の報告、定期的な実施について

毎年、各市町村のPTAから提出される要望は、地域の教育環境の向上を目指す重要な意見や提案が盛り込まれております。

これらの要望に対する対応の透明性を高めるため、県教育委員会においては、要望書に基づく施策や対応の進捗状況について報告を行っていただきますよう要望します。

### ・県有施設としての「(仮称)岐阜県教育会館」の設置

岐阜県PTA連合会は、岐阜県校長会館に事務所を構えています。岐阜県校長会館には、現在岐阜県小中学校長会をはじめとする8つの教育関係団体が入居しています。

全国的に見ても、県の教育関係団体事務局が県有施設に入居できないのは、数える程しか無く、岐阜県教育の充実と発展を支える上でも、県有施設として「(仮称)岐阜県教育会館」を設置し、各教育関係団体の連携を取ることができる環境の整備を要望します。

## 2 児童生徒の健全育成・安全安心

学校および通学路における児童生徒の安全を確保するため、行政に対して、適切な道路整備や規制の優先的な実施を求め、予算措置を強く働きかけていただくようお願いします。

また、地域社会、警察、保護者、企業との連携を強化し、情報共有を徹底することで、防犯パトロールや見守り活動の推進を図りたいと考えています。

特に「子ども 110 番の家」の取り組みへの協力を地域住民の皆様幅広く呼びかけ、緊急時に児童生徒が安全に避難できる場所を確保することを目指します。

さらに、情報機器や SNS の使用モラルに関する教育を通じて、デジタルシチズンシップの意識を高めることが不可欠です。学校内では、防犯システムの充実や異常気象時の安全対策を徹底し、児童生徒が安心して学び生活できる環境の整備を要望します。

### 3 教職員の人材確保と予算増

#### ・義務教育費国庫負担制度の堅持について

PTA として、国庫負担割合の引き下げは地方自治体の財政負担を増大させ、子どもたちの教育環境や教育の質に悪影響を及ぼす可能性があることを懸念しております。現行制度の維持を要望し、子どもたちが平等かつ質の高い教育を受け続けられるように要望します。

#### ・県教育委員会に見合う教育予算の増額について

各学校が地域のニーズに応じた特色ある教育を展開することが求められていますが、市町村によっては十分な予算が確保されていないため、実現が難しい状況です。

各校の自主性や創意工夫を活かし、子供たちの可能性を最大限に引き出すために、特色ある学校経営に必要な予算を増額することを要望します。

#### ・豊かな人格、優れた見識を備え、教育者としての児童生徒に寄り添える人材の育成について

子どもたちに寄り添い、豊かな人格と見識を備えた教育者の育成を強く求めます。子どもたちの健全な成長には、教育者が持つ深い理解と共感が不可欠です。また、児童生徒と教育者の心のケアを担うスクールカウンセラーの充実を図るよう要望します。

#### ・教職員給与水準及び諸手当の引き上げについて

現在の待遇では、教職に魅力を感じる人材が減少しており、このままでは教育現場に深刻な影響を与える可能性があります。

また、近隣県と比較して給与水準や諸手当が低いため、県内の優秀な教職員が他県へ流出するケースも見受けられます。

教育の質を向上させ、優秀な人材を確保するために、教職員の給与水準および諸手当の引き上げを要望します。

#### ・適正な人事異動の推進と非常勤講師の補充について

地域ごとの特性や学校のニーズに基づいた適正な教員の配置を確保するため、人事異動の改善を要望します。

また、教育現場での教員の産休・育休・病休・休職などで人員不足時に、現在の制度では常勤講師しか補充できないため人材不足は重大な問題です。

教員不足の状況に対応するため、非常勤講師の効果的な補充を要望します。

これにより、教育の質を維持し、生徒たちにより充実した学習環境の提供につながるよう要望します。

#### ・児童生徒の実態に合った特色ある教育課程の実施について

すべての子どもたちが自分に合った学び方を選び、主体的に成長できる環境を提供するため、特に多様化する子どもたちのニーズに応えることを目指し、固定担任制の見直し、教員が専門性を活かした指導ができる仕組みの導入、そして体験学習を重視したカリキュラムを提供する小規模校の設置など、さまざまな居場所を提供するモデル校の導入を要望します。

## 4 教職員の定数増、加配等

加配教員の増員や少人数学級の導入、教職員定数の見直しで、児童・生徒一人一人の特性や関心に応じた多様な学びの環境を整え、安心して子どもたちが健やかに成長できる学校環境となると考えます。

教員の業務負担を軽減し、より専門的な授業に専念できるように、特別支援教育の充実や、児童生徒のこころのケア、さらに地域ニーズに応じた柔軟な教職員配置の実現を要望します。

## 5 指導力の向上

#### ・教職員の資質向上・教育環境に係わる具体的施策について

今後さらにより良い教育環境を作るため、以下の点について要望します。まず、教職員の指導力や授業力の向上を目的とし、定期的かつ継続的な研修の充実を要望します。

次に、小学校における教科担任制の導入を進め、専門的な教育を提供できる環境の整備を要望します。

そして、教職員がゆとりをもった児童生徒への対応ができ、教育現場の負担軽減と資質向上のため、加配教員の増加を早急に実施していただくよう要望します。

#### ・ICT機器の活用、通信環境（Wi-Fi）の整備、デジタル教科書の質向上について

ICT 機器を活用した学習方法の推進に伴い、学校内および家庭内の通信環境 (Wi-Fi) の整備を進め、児童・生徒が効果的に学べるよう、デジタル教科書の質の向上を求めます。

また、教科書の無償給与は法律で定められているため、デジタル教科書においても無償を維持することが必要と考えます。さらに、タブレットの更新時には保護者に経済的負担が生じないように、働きかけを要望します。

## 6 特別支援教育の充実

### ・特別支援教育の充実と通級指導教室の増設、及び各専門教員とコア・ティーチャーの増員配置について

特別支援教育を必要とする児童・生徒が増加している現状を踏まえて、通級指導教室の増設と、専門教員及び、コア・ティーチャーの早期の養成の実現と県内各地域の小中学校への配置を要望します。

児童・生徒一人一人が適切な支援を受けられる環境の整備を要望します。

### ・全教職員に対する発達障害に関する研修等の充実について

発達障害を持つ児童・生徒への理解を深めるため、またその児童の保護者と正しい情報の共有ができるよう、教職員に対する研修の充実を要望します。

また、研修を通じ、各学校の教職員内で情報の共有ができる体制を整えて、児童一人一人に適切な支援を行うことができるよう要望します。

### ・「合理的配慮」に関する周知と関係保護者を支えた定期的な評価について

特別支援教育における「合理的配慮」の重要性を周知し、関係する保護者への支援を行うために、定期的な評価の実施を求めます。

これにより、保護者と学校だけでなく、コミュニティ・スクールなどを通じた地域の連携を強化する取組を要望します。

また、特別支援学級 OB 保護者との交流会などを通して、児童・生徒の成長をサポートできるような体制作りを要望します。

### ・外国籍児童生徒への指導の充実について

外国籍児童・生徒への適切な指導を行うために、各地域の現状を把握し、必要な支援を提供する体制の整備を要望します。

異文化理解を深め、全ての児童・生徒が公平に教育を受けることができる環境の実現を要望します。

## 7 部活動地域移行

部活動の地域移行に伴う課題解決に向け、以下の具体的な対策を講じていただきたく要望します。

まず、指導者不足の解消に向け、「地域クラブ指導者育成研修会」を岐阜県内6地区で年2回開催し、指導者の育成と確保を強化するとともに、「活動手当」や「活動補助金」の増額を要望します。

次に、練習場所の確保と利用の利便性向上のため、地域施設の増設や予約システムの改善、送迎バスの導入を検討し、各クラブ活動の活動時間や場所を近接させるなど、移動負担の軽減を要望します。

また、費用負担の軽減策として補助金を充実させるとともに、安全対策の強化や保険制度の充実も重要です。

最後に、地域と学校の連携強化のため、「岐阜県地域クラブ活動推進コーディネーター」の増員や、各市教育委員会に「地域クラブ活動のスペシャリスト」を配置し、地域と学校が一体となって部活動の円滑な地域移行と運営を実現できるよう要望します。

## 8 喫緊の課題

### ・「いじめ問題への対応」について

「いじめ」問題は多様にわたり、些細な事からも「いじめ」に発展（不登校にも）します。児童生徒一人一人にあった対応、子どもの気持ちを第一に尊重した対応を要望します。

県の「いじめの防止等のための基本的な方針」による、早期（初期）対応が大切と考えます。いじめの判断基準・対応を県内の教職員が一貫した取り組みができるよう要望します。

### ・「不登校問題への対応」について

近年、不登校児童生徒が増加しており、その原因は多岐にわたります。子どもの気持ちを第一に、学校内で安心して過ごせる場を含めた環境整備、児童生徒一人一人に合った学びの場を整え、学習権の保障をおこなうことは大切と考えます。

これらを実現するためには、教育関係者、保護者、地域社会の協力が欠かせません。全ての児童・生徒が安心して学び続けられるよう学校を含めた学びの環境を整えていただけるよう要望します。

### ・「学校の機能の充実・環境整備」について

特別教室・体育館のエアコン未設置の学校が多く、エアコンを設置することで、年間を通して快適な学習環境のもと授業を行うことができます。体育館は災害時の避難所という面からもエアコンの早期の設置に向け、県教育委員会からも各郡市町への働きかけを要望します。